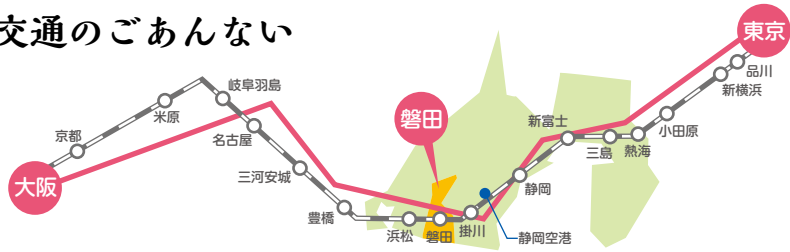


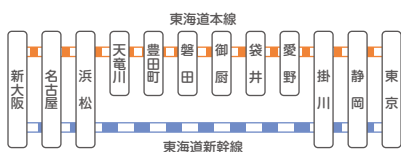
ポクと一緒に  
歴史のロマンを  
探してみようよ！



## 交通のごあんない

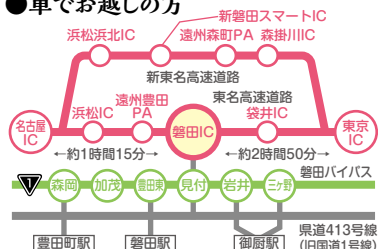


### ●電車でお越しの方



東海道本線 浜松～磐田(12分) 磐田～掛川(14分)  
東海道新幹線 東京～掛川(こだま号約1時間50分)  
新大阪～浜松(ひかり号約1時間25分、こだま号2時間)

### ●車でお越しの方



★磐田の名所・観光のこと、お気軽にお問い合わせください。

### 磐田市観光協会

- ◆〒438-0078 静岡県磐田市中泉1-1-5 (JR磐田駅北口)
- ◆TEL0538-33-1222 ◆営業時間 9:00～18:00
- ◆休館日 月曜日(ただし、月曜日が祝日の場合はその翌日。12/29～1/3)
- ◆<https://kanko-iwata.jp>

携帯電話でイベント  
情報を確認できます



ありがた歩記

磐田  
豊田  
地区編

磐田の寺社をぐるぐるつと散策  
歴史の香り漂うまちに誘われて



其の弐

## 豊田地区 ありがた歩記

あるき

みんなに良い  
ご縁がありますように...

今回は、豊田地区のなかでも磐田原台地の境目付近、南北に長いエリアの寺社仏閣を中心に紹介します。400年まえ、地域のために造られた寺谷用水は延長され今もなお大切に利用されています。また大めし祭や大念仏などのバカ受け継がれている民俗行事が現在も行われているのは地域の人々の厚い信仰のあらわれだと思います。信じることでできるステキな心にさっと触れられるにー♪



◎磐田市  
じっぺり

## お寺・神社巡りがもっと楽しくなる!!

### 和尚さんに聞いてみよう!!

お寺巡りが今とっても人気ですが、お寺や神社を訪れてみなさんは何をしますか? お願い事をしたり、仏像をみたり...。せっかく訪れたのだから、和尚さんとお話してみませんか? 和尚さんは、お寺のこと、仏教のこと、地元のこと、いろんなことをたくさん知ってるんですよ。和尚さんを見つけてぜひお話してみましょう。境内で誰かにあったら挨拶しましょうね!

和尚さんって怖くないかなー  
座禪させられて  
カーッ! っってやられちゃいそう!



大丈夫!  
和尚さんは  
楽しくて  
やさしい人  
ばかりだよ!



お寺はみんなの場所で  
大切な文化財もたくさん  
あるから丁寧に参拝しよう!



### 観光ボランティアさんに 教えてもらおう!

ふれあいガイドさんって知ってますか? なんとな〜知ってるけど...って方がほとんどかと思えます。ガイドさんは、観光スポットや名所・旧跡などを一緒に行きながら案内してくれます。地元で伝わるお話やパンフレットには載ってない裏話などなど...おもしろいお話がたくさん聞けますよ〜。2週間前までに電話かFAXでお申し込みください。磐田の魅力をたっぷりお届けします! くわしいお問い合わせは、磐田市観光協会 ☎0538-33-1222まで

地元の人も  
市外から訪れた人も  
誰でも案内します!



観光ボランティアさんとイベントに参加された方々&じっぺり

## おすすめの巡り方紹介

人々の信仰心に触れる寺社巡り

### 地域の歴史や学びが見える

寺谷用水をつくった平野重定の墓や妹のおこんの供養塔があります。木々に囲まれほっとする雰囲気のお寺です。無形民俗文化財の加茂大念仏は大円寺にある重定墓所でその年最初の供養を行い、13日から初盆供養に回ります。

### 美しく見どころの多いお寺

本堂の欄間や、脇にある七面堂の鬼子母神、七面大明神、最上位経王大菩薩も美しく見入ってしまいます。さらに奥の妙見堂には熱心な法華経の信者であった加藤清正などが祀られ、見どころの多いお寺です。

4 地図番号  
地域の大切な歴史 大円寺



気がなくても  
大丈夫!

徒歩  
約20分

5 地図番号  
一度は行きたい観音様 智恩齋



迷ったら  
地図を見て!

徒歩  
約20分

6 地図番号  
多くの仏像と見事な欄間 本性寺

### やっぱり一言観音さまにお願いしたい!!

家康のお願いも聞いてくださった観音様は境内の入り口におられます。智恩齋は袋井の可睡齋、磐田(下野部)の一雲齋とともに遠州三齋に数えられる曹洞宗のお寺です。寺号は戦勝祈願をした家康が恩を知るという気持ちを持って名号したとされています。



## イベントに参加してみよう!

磐田市観光協会では、いろいろなイベントを只今企画中!!ぜひ、いろんなイベントに参加してみよう!磐田駅前の観光案内所では磐田にとっても詳しいコンシェルジュが皆さんの旅のアドバイスをしてくれます。観光の際はぜひお立ち寄りください。

★季節のイベントなどの情報がたくさん掲載された磐田市観光協会のホームページも要チェック!!



いろんなイベントが  
たくさんあるんだね!



観光案内所で  
教えてくれるよ!

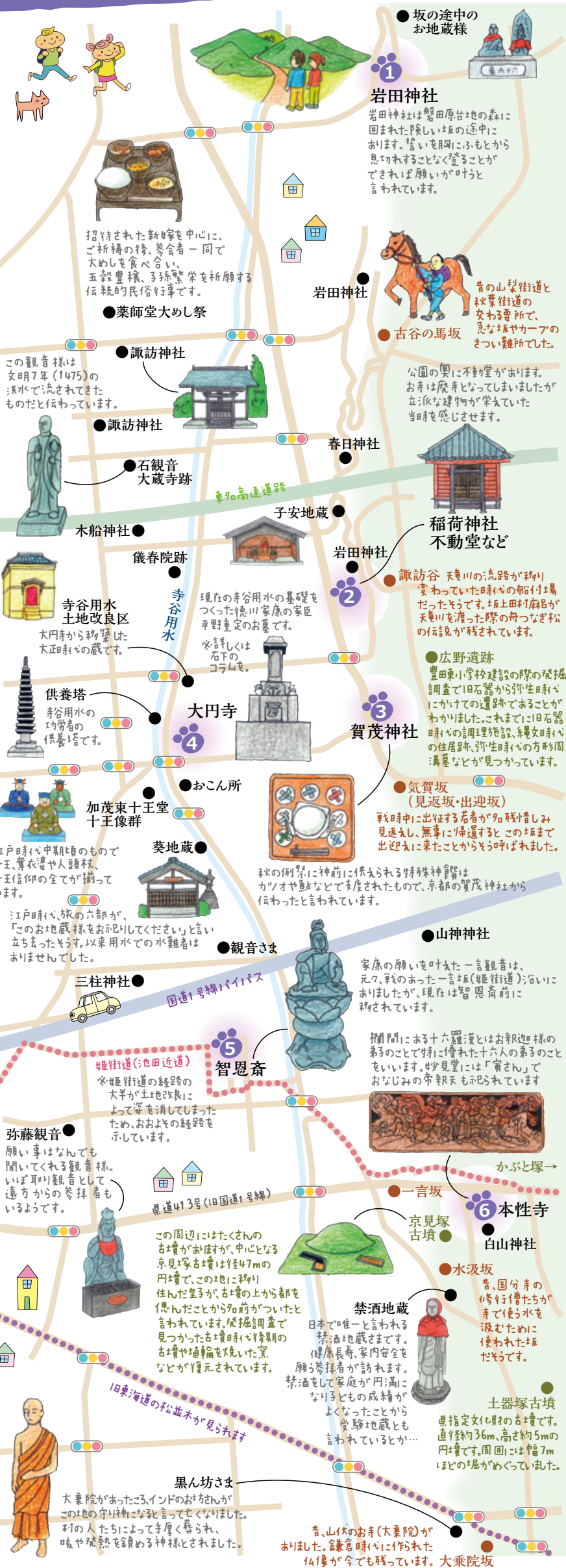


# 豊田地区周辺の寺社巡り。



其の式

徳川家康をはじめ戦国時代の合戦のエピソードが語り継がれ、天平時代の  
お話や、点在する古代の遺跡が残されています。新しい発見がきっと待っています。



磐田市、磐田原台地西縁から豊田地区の東端の周辺を紹介します。  
台地とその下の平地の境は坂道が多く、車がなかった昔の人は大変苦労したことでしょう。  
その多くの坂や谷に石段がつけられ、いろいろなお話とともに今に伝わっています。  
地区で祀られている寺社は信仰の対象だけではなく、庶民の信仰の厚さがうかがえるようなものが  
たくさんあって大切にされているんだと感じました。  
また、古い時代の遺跡や古墳が点在しており、歴史のロマンを楽しめるエリアです。



## 1 岩田神社

IWATAJINJYA

祭神 大国主命  
ご利益 縁結び、交通・航海の守護など

宝亀2年(771)に出雲国杵築宮(出雲大社)より勧請し、当時この辺りを岩田ヶ原袖子ヶ浦入海と言われていたことから入見神社として創建されたと伝えられています。磐田原台地の西端の斜面に位置し、岩田原に鎮座する岩田大明神と呼ばれました。静かな森の中にあり見上げるような位置にある本殿が当時の人たちの信仰を集めたのであろうと思われれます。境内には明治6年に移転された淡島神社もあります。



## 2 稲荷神社

INARIJINJYA

祭神 稲荷大神  
ご利益 商売繁盛、五穀豊穡、学業成就など

京都の伏見稲荷から迎えられ山頂に祀られていましたが、明治になって信者の便をはかりふもとへ移されました。境内には古い秋葉堂、馬頭観音が祀られています。北側には昔、盤田山三得院がありました。今では気賀東公会堂となっていますが、朱に塗られた不動堂や身代わり地蔵、弘法大師のお堂などが残っており建物は文化財級とも言われています。気賀のお不動様とよばれ信仰を多くあつめた時期もあったそうです。



## 3 賀茂神社

KAMOJINJYA

祭神 鴨若雷命、  
ご利益 厄除け、開運、祈雨・止雨など

高倉天皇に使っていた矢田但馬が京都の賀茂神社から養和元年(1181)勧請したものと伝わっています。平安時代初期の延喜式神名帳という神社の台帳に御祖神社と記されている古い神社とも言われています。現在の本殿は慶安5年(1652)に再建されたもので、何度か修理が加えられてきましたが、江戸時代の神社建築の形を今に伝える貴重な建物です。



大正18年に完成した取入口跡

## 4 大円寺

DAIENJI

宗派 曹洞宗  
ご本尊 阿弥陀如来



神亀3年(726)に僧が寺を建てて住んだのが始まりだそうです。弁天様をお祀りしたり、法多山の末寺であった時代を経て現在にいたります。家康の家来、平野重定と妹おこんの墓があります。ここには武田軍に捕らわれたおこんを敵もろとも刺し貫いて撃退させた兄とそれを願った妹の勇気をたたえた言い伝えが残っています。明治になってこの地には加茂学校が建てられました。

## 5 智恩斎

CHIONSAI

宗派 曹洞宗  
ご本尊 虚空蔵菩薩



創建の年代ははっきりしませんが、三倉の栄泉寺の僧が請け負われ住職となったと記されています。山門の西側に安置されている一言観音は、徳川家康が一言坂の戦いで一代に一度だけ願いを聞いてほしいと観音様に助けを求めたところ戦いに勝つことができたので一言観音と呼ばれるようになったと言われています。山門は江戸時代の皆川陣屋の門を移築したものであると言われ、当時の斎藤代官の墓があります。

## 6 本性寺

HONSHOJI

宗派 日蓮宗  
ご本尊 久遠実成本師釈迦牟尼仏



寛永2年(1625)に日遍上人により開創されました。現在の本堂は大正8年(1919)に再建されたものです。本堂の欄間(十六羅漢)は名工高須宗信によるもので、十六羅漢の欄間は数が少なく大変貴重なものです。本堂の脇には七面堂があり七面大明神、子育て鬼子母神、最上位経王大菩薩、奥の妙見堂には加藤清正公などが祀られています。

### 古墳のまち磐田!!

奈良時代には国分寺がおかれ遠江の中心であった磐田には古墳が数多く現存し出土品も多く見つっています。県内でも古墳の多い地域とされ、街中でも気軽に見ることが出来ます。★国指定文化財の古墳群3か所(銚子塚古墳附小銚子塚古墳、新豊院山古墳群、御厨古墳群)★県指定文化財の古墳2基★市指定文化財の古墳1基、その他塚家古墳や京見塚古墳などがあります。

### おこんと寺谷用水のお話

元亀3年(1572)、武田信玄が大軍を率いて遠江へ進攻してきた際、天竜川東岸の交通路を押えるため家康の家臣平野重定は加茂に砦を築きました。武田軍は現在の森町から磐田市にかけて次々と攻略し、加茂砦にも押し寄せて来ましたが、重定の兵は果敢に防戦し武田軍を押し返し包囲しましたが、重定の妹のおこんが敵の楯にされてしまいました。おこんは「兄さん、わたしに構わず突き刺してください」と言い、重定はおこんの言葉に涙を吞んで槍を繰り出し、おこんもろとも敵を突き刺してしまいました。その後、村人はおこんをあわれみ、小さな祠を立ててまつりました。その祠は現在、加茂東地区の「寺谷用水」のそばにあります。「寺谷用水」は今から約400年前、重定が、水源を求め13kmの水路を開き出したのが起源で、大井堀と呼ばれ旧村名「井通村」の由来にもなりました。重定は寺谷村に取水口を設けて用水路を建設、周辺の農地開拓に貢献しました。その後この用水路は延長され、現在も寺谷用水と呼ばれています。